

基 調 編

- 2024 年度 (一社)守口門真青年会議所基本計画理事長所信
- 2024 年度 組織図
- 2024 年度 事業計画
- 2024 年度 予算書
- 2024 年度 出向者一覧

一般社団法人守口門真青年会議所 2024 年度 基本計画

○ 基本理念

誰もが輝き活躍するまちの創造

○ 2024 年度守口門真 JC スローガン

挑戦

～成長の軌跡を描こう～

○ 基本方針

自然と仲間が集う組織へ

挑戦できるまちづくり

地域を愛する青少年育成

胸を張って発信できる組織づくり

○ 理事長所信

一般社団法人守口門真青年会議所 2024 年度理事長 松村 翔太

【はじめに】

本年度は守口門真青年会議所が統合してから 20 周年を迎える重要な節目となります。これから未来に向けて、より一層の存在意義を確立していくためには、私たちの成長と発展が不可欠です。さらに、本年度は守口門真青年会議所から初めて近畿地区協議会の会長が輩出されます。これは、統合前の歴史をさかのぼっても初めてのことです。今までにないほど近畿地区協議会に近い存在となり、そのスケールメリットを活かし、メンバーの成長を促進します。変化し続ける地域社会に適応し、持続可能な活動を続けるために、多様性を尊重し、誰もが参加しやすい環境を整えつつ、メンバー一人ひとりが成長することが必要です。そのメンバーが自信をもってリーダーシップを発揮し、チームワークを大切に活動することで、守口市と門真市の発展に寄与できる団体として存在し続けてまいります。

【自然と仲間が集う組織へ】

魅力的なものには、自然と人が集まりやすいものです。私たちが運動を展開していくうえで大事なことは、自分自身が JC を楽しみながら活動していく環境をつくることです。活動を楽しむためには人と人の出会いは欠かせません。人と人の出会いは足し算ではなく、掛け算です。多くの出会いを求めるためには、限られたメンバーだけでなく LOM 全体で力を

合わせることで、その効力は2倍にも3倍にもなります。そのためにも、多くの人が集まる場を提供し、初めて出会う方にも魅力的な仲間がいることを知っていただく必要があります。

また、新たに仲間になったメンバーも役割を担って活動するなかで、JCの本質を理解し個々の成長を促進します。仲間が人間関係を築き、リーダーシップやスキルを向上させることで、JCに価値を感じ、楽しく活動していきます。そして、メンバーが守口門真青年会議所の魅力を伝えることで、自然と人が集まる団体を目指します。

【挑戦できるまちづくり】

近年、私たちが活動する守口市と門真市では、公共スペースや商業施設などが充実し一層の賑わいを見せるようになりました。しかしながら、事業所数や労働人口は減少傾向にあります。将来的にこのまちが発展していくためには、市民が地域に魅力を感じて、まちに残りたくなる環境をつくる必要があります。そのためにも、新たなビジネスの可能性に挑戦をし、地域のブランド力を向上させる運動を展開していきます。

また、守口青年会議所から始まる子供たちの交通安全を願った愛の鈴贈呈事業は、昨年で50周年を迎えました。これを区切りとして、更なる新たな挑戦に取り組みます。私たちは守口市と門真市の2つの市で活動する団体であり、その可能性は無限大です。行政や各種団体としっかり連携をとり、地域の声に耳を傾け、まちに必要とされる運動を展開してまいります。

【地域を愛する青少年育成】

JCの理念でもある明るい豊かなまちの創造に向けて、子供たちは未来の大きな力となります。少子化の中で、守口市と門真市が将来発展していくためには、地域を愛し、まちに愛着を持って残りたいと思う多くの青少年を育成する必要があります。地域を愛するようになるためには、まずは自分のまちの文化に触れ、この地域で楽しい思い出をつくり、子供たちが大人になっても忘れることのないような事業を展開してまいります。

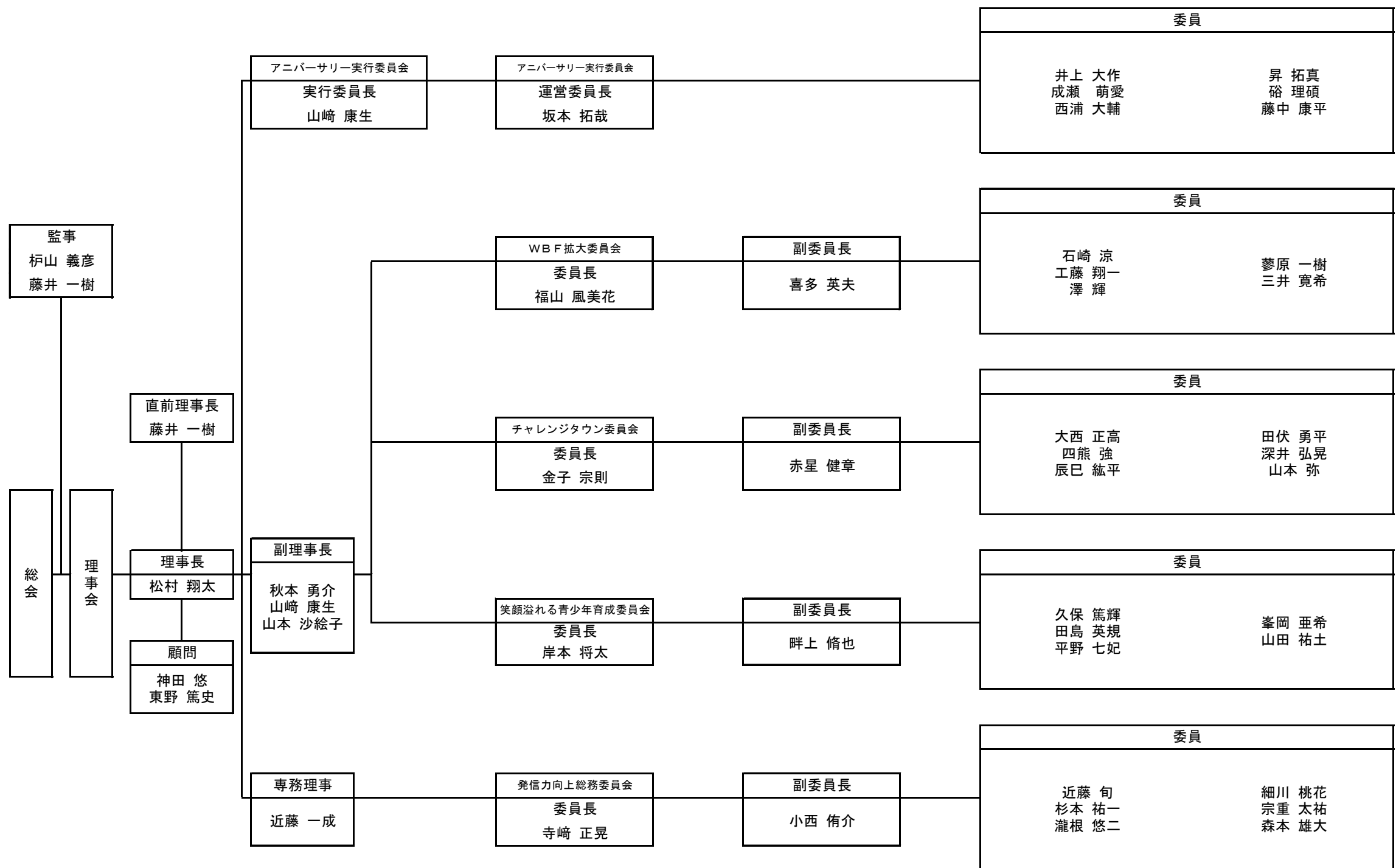
また、青少年育成事業として全国で開催されているわんぱく相撲大会では、守口門真大会は全国の中でも指折りの参加者数を誇っていました。しかし、近年の参加者数は徐々に減少傾向にあります。今一度、多くの参加者が賑わい、子供たちが切磋琢磨する場となる大会を目指し、感動できる場を提供してまいります。そして子供たちが未来を担い、守口市と門真市を発展させていく人財に成長していくためにも、将来このまちで育ったことを誇りに思える青少年の育成を行ってまいります。

【胸を張って発信できる組織づくり】

私たちは様々な運動を展開していますが、これらの運動の意義をより高めるためには多くの方々に知ってもらい、共感を得ることが不可欠です。組織の存在意義を向上させるためには、SNSを活用して広く情報を発信し、多くの方々に届けることが重要です。本年度は、私たちが今まで以上に発信力を強化していく挑戦を行います。同時に、会員自身が情報発信力を向上させる学びを得ることで組織の成長を推進します。また、情報発信を進めるためには自信をもって活動できる組織を築き、会員が輝く環境を整えることが重要です。そして、各委員会と連携して、スムーズな組織の運営を行います。不測の事態があった場合でも進められる環境をつくり、一つの方向に向かっていけるような体制を整えます。そして持続的な活動を実現し、胸を張って発信することができる組織運営を行ってまいります。

【結びに】

本年度はスローガン「挑戦～成長の軌跡を描こう～」を掲げ、新たな一步を踏み出します。統合20周年を迎える今こそ、すべての皆様への感謝の気持ちを大切に、その思いをしっかりと伝えてまいります。そして、市民の皆様と共に誰もが喜び挑戦し続けるまちづくりに取り組んでまいります。私たちメンバーは成長し、地域社会で輝く存在となり、守口市と門真市の発展を様々な形で支えてまいります。そして、30周年、40周年といった未来を、笑顔で迎えるために、誰もが輝き活躍するまちを創造します。



正副会議	松村 翔太 近藤 一成	秋本 勇介	山崎 康生	山本 沙絵子
財務審議会	秋本 勇介 寺崎 正晃	山崎 康生 小西 脩介	山本 沙絵子 藤井 一樹	近藤 一成 栢山 義彦
入会審議会	松村 翔太 近藤 一成	秋本 勇介 福山 風美花	山崎 康生 喜多 英夫	山本 沙絵子

■アニバーサリー実行委員会

<委員会構成メンバー>

委員長 坂本 拓哉

総括幹事 碓 理碩 副幹事 西浦 大輔 会計幹事 昇 拓真

委員 井上 大作 委員 成瀬 萌愛 委員 藤中 康平

<委員会スローガン>

20周年！感謝と未来への挑戦！

<委員会方針>

守口門真青年会議所はこれまでに携わっていただいた、先輩諸氏をはじめ行政、各種団体に支えられ、統合20周年という節目を迎えます。今こそすべての皆さまへの感謝の気持ちをお伝えするとともに、地域のなかでより一層存在意義を確立していく必要があります。

周年事業は例年よりスケールメリットを感じられる事業を展開でき、守口門真青年会議所を守口市門真市をはじめ多くの皆さまに周知できる特別な機会でもあります。アニバーサリー実行委員会では、メンバー一人ひとりが周年の重要性を念頭に入れて活動いたします。また、LOM全体で力を合わせて周知のために守口市門真市以外の各地に赴くことで、委員会メンバーはもちろんLOM全体のチームワークの醸成や、まちのために輝く存在へと成長できる機会を提供いたします。

そして、メンバー一人ひとりがすべての皆さまへの感謝の気持ちをより大切にし、リーダーシップを発揮し、チームワークを高め、市民の皆さまと共にまちのための挑戦をおこなって参ります。それにより、30周年、40周年といった未来を笑顔で迎えられるまちの創造のために守口市と門真市の発展を様々な形で支えていく団体としての存在意義を確立いたします。

■ アニバーサリー実行委員会 <事業スケジュール>

	月→	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
事業名↓	理事会→	P2	P3	P4	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13
1. 20周年ゴルフの日程、式典の日程、 祝賀会の日程		審															
2. 20周年記念グッズ作成			協2	審	実												決
3. 20周年ゴルフ					協1	協2	審			実			決				
4. 8月度例会 20周年記念式典							協1	協2	審			実		決			
5. 20周年祝賀会							協1	協2	審			実		決			
6. 20周年記念誌							協1	協2	審			実		決			
7. 20周年記念事業										協1	協2	審			実		決

記入例: 討=討議、協1=協議1、協2=協議2、審=審議、実=実施、報=報告依頼、決=事業決算報告

p は pre 予定者段階

■ WBF 拡大委員会

<委員会構成メンバー>

委員長 福山風美花 副委員長 喜多 英夫 幹事 工藤 翔一 委員 石崎 涼
委員 澤 輝 委員 蓼原 一樹 委員 三井 寛希

<委員会スローガン>

THE POWER OF TEAMWORK

<委員会方針>

JC 活動の参加率の減少、退会者の増加といった課題解決のためには自然と人が集まる組織となっていく必要があります。メンバーの主体性や自律性を高めることはもちろん、JC の理念に共感し、その共感を共鳴することが大切です。JC 活動の魅力は、今まで出会うことのなかった人に出会えることや、経験したことがなかったことを経験できること、そして新しいことへの挑戦ができることです。さらにメンバー個々の専門知識やスキルを活かすことで、メンバー同士が刺激され成長の機会が生まれることです。そういった魅力を感じることで、JC の理念に共感し、共鳴することで一体感のある組織となっていきます。

WBF 拡大委員会では、メンバーにホストとしての自覚を持たせ、新たに仲間となったメンバーが参加しやすい環境をつくります。頼れる先輩や、安心できる仲間が身近にいる環境を作ることで理念の理解や魅力を伝えやすくしていきます。またメンバー個々の知識やスキルを活かせる例会を設け、成長の機会を自らつくりだしていき、メンバーの成長を促進させます。

チームで取組むことで1人ではできない喜びや達成感を共有し、チームの一体感を高め、仲間を増やし、自然と人が集まる組織をつくってまいります。

■ WBF 拡大委員会<事業スケジュール>

	月→	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
事業名↓	理事会→	p3	p4	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13
1. 1月新入会員の受け入れ・育成		協2	審												決	
2. 拡大事業			報	実	報	実	報	実								
3. シニア交流会(春)(秋)					報	報	実				報	報	実			
4. 8月ふるさと門真まつりブース出展							協1	協2	審		実		決			
5. 11月度例会										協1	協2	審		実		決
6. 12月卒業謝恩会											協1	協2	審		実	決
7. 全国大会ロムナイト											報	報	実			

記入例: 討=討議、協1=協議1、協2=協議2、審=審議、実=実施、報=報告依頼、決=事業決算報告

p は pre 予定者段階

■チャレンジタウン委員会

<委員会構成メンバー>

委員長	金子 宗則	副委員長	赤星 健章	総括幹事	深井 弘晃
運営幹事	山本 弥	委員	大西 正高	委員	四熊 強
委員	辰巳 紘平	委員	田伏 勇平		

<委員会スローガン>

恐れるな!!~チャレンジし続けよう未来のために~

<委員会方針>

近年社会のめまぐるしい変化に対して受動的な人々が増加傾向にあります。このような状況を変えるには強い意志と不屈の精神でチャレンジし続けることが不可欠です。

守口門真青年会議所がこれからも地域に求められる団体であり続けるには、地域の声に耳を傾け、小さな変化を見落とすことなく行動し続けることが大切です。行政、各種団体、企業と連携し地域課題を解決に取り組むことで、地域に愛される団体になれるように目指します。

そして我々は守口青年会議所、門真青年会議所が統合されて節目となる 20 年の歴史を刻んできました。地域の皆様に感謝の気持ちを伝え、今後も地域から求められ続ける団体になるために新たなことにもチャレンジし続けられる守口門真青年会議所を目指します。過去の成功と教訓から学び、未来へ向けての歩みを止めず、地域の課題に焦点を当てたうえでの新たな事業を構築し、地域の人々に向けての事業展開をし続けることで、今後さらに認知される団体になります。

そして我々は地域をリードするリーダーとして、地域に様々な学びの機会を提供し続け、地域を巻き込みチャレンジし続けることで持続可能なまちづくりを創造して参ります。

■ チャレンジタウン委員会 <事業スケジュール>

チャレンジタウン委員会	月→	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
事業名↓	理事会→	p3	p4	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13
1. 1月新年交歓会		協2	審	実		決										
2. 4月度例会(交通安全)			協1	協2	審		実		決							
3. 6月北河内合同例会						報	報	報	実			報				
4. 7月総会懇親会						協1	協2	審		実		決				
5. 10月度例会									協1	協2	審		実		決	
6. サマコン ロムナイト								報	報	実						
7. 大納会.													報	報	実	

記入例: 討=討議、協 1=協議 1、協 2=協議 2、審=審議、実=実施、報=報告依頼、決=事業決算報告

p は pre 予定者段階

■笑顔溢れる青少年育成委員会

<委員会構成メンバー>

委員長 岸本 将太 副委員長 畔上 脩也 幹事 峯岡 亜希
委員 久保 篤輝 委員 田島 英規 委員 平野 七妃
委員 山田 祐土

<委員会スローガン>

地元を愛して何が悪い

<委員会方針>

笑顔溢れる青少年育成委員会では、全国的に少子高齢化かつ過疎地域の人口減少が進むなかで、30年以上人口減少が進む守口市、門真市でも将来の発展のために、地域を愛し誇りをもってもらい、住み続けたいと思ってもらう青少年を育成する必要があります。

地域を愛し、誇りをもつことは、ないもの・なくなっていくものに目を背けるのではなく、現在あるものに目を向け地域のことを深く知り理解するところから始まります。そして親から子へ、友人同士など地域コミュニティの中で培われていくものです。培われた地域への愛と誇りは周りの人々へ伝わり、市外への魅力発信へとつながります。そのため本委員会では、親子で地域ならではの伝統的な文化や特産品などの魅力に触れる体験の機会を市内の各種団体・企業と連携をとりながら提供することで、子供たちはもちろん保護者の方々にも地域の魅力を再発見していただく機会とします。

市外からの移住者数も改善傾向にあり、地元が守口市、門真市でない方が増加することが予想されます。生まれ育ったまちでなくても、積極的に地域創生につながるような行動をするシビックプライドをもつ青少年を育成していくよう活動いたします。

■ 笑顔溢れる青少年育成委員会 <事業スケジュール>

	月→	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
事業名↓	理事会→	p3	p4	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13
1. 2 月度例会			協 2	審	実		決									
2. 3 月 JC カップ				報	報	実			報							
3. 5 月度例会わんぱく相撲守口門真大会				協 1	協 2	審		実		決						
4. 7 月近畿地区大会参加促進								報	報	実						
5. 7 月近畿地区大会ブース出展						協 1	協 2	審		実		決				
6. 9 月度例会								協 1	協 2	審		実		決		
7. 11 月度守口市民まつりブース出展										協 1	協 2	審		実		決

記入例: 討=討議、協 1=協議 1、協 2=協議 2、審=審議、実=実施、報=報告依頼、決=事業決算報告

p は pre 予定者段階

■発信力向上総務委員会

<委員会構成メンバー>

委員長 寺崎 正晃	副委員長 小西 侑介	運営幹事 森本 雄大
会計幹事 細川 桃花	委員 近藤 旬	委員 杉本 祐一
委員 瀧根 悠二	委員 宗重 太祐	

<委員会スローガン>

新しい発信への挑戦

<委員会方針>

発信力向上総務委員会では、今まで以上に組織の存在意義を向上させるために情報発信力を高め、時代にあった形の SNS 運営に力を入れます。年々 SNS などを使った情報発信が活発化してきている中で、守口門真青年会議所も時代に合った情報発信を行っていくことが大切です。さらに、ただ情報発信をするのではなく一人ひとりが発信し、同時に発信する側として適切な情報を提供する自覚を持ち、運営を行うことが必要です。

また、効果的な情報発信をしていくためにはメンバーが自信をもって発信していきたくするような内容を学ぶことができる例会や事業を提供します。

今年は守口青年会議所、門真青年会議所が統合されて 20 周年という年でもあるため、メンバーが今まで以上に参加したくなるような JC 活動の場を委員会として盛り上げ、メンバー同士の仲を深めあい前向きに SNS や HP での発信もしっかりと行っていきます。

発信力向上総務委員会は、縁の下の力持ちとして総会や役員選考委員会では各委員会と密に連携をとりスムーズな運営を行います。これまでとは違う新しい価値を見出していける存在感のある委員会活動を行い、LOM の活性化の一助を担いメンバーが輝ける環境を提供して参ります。

■ 発信力向上総務委員会 <事業スケジュール>

	月→	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
事業名↓	理事会→	p3	p4	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13
1. 名簿・基本資料作成			報	実	実	実	実	実	実	実	実	実	実	実	実	
2. 定時総会の企画運営		協2	審	実		決										
3. 3月度例会の企画運営		協1	協2	審		実		決								
4. 役員選考委員選出投票の管理					審		実		決							
5. 7月臨時総会の企画運営						協1	協2	審		実		決				
6. 10月近畿地区ブロック大会の参加促進											報	報	実			
7. 10月近畿地区ブロックブースの企画設営									協1	協2	審		実		決	
8. 12月度例会卒業式の企画運営											協1	協2	審		実	決
9. 12月度記念紙の企画・作成											協1	協2	審		実	決
10. 褒章授与式														審	実	決
11.HP作成			報	実	実	実	実	実	実	実	実	実	実	実	実	報

記入例: 討=討議、協1=協議1、協2=協議2、審=審議、実=実施、報=報告依頼、決=事業決算報告

p は pre 予定者段階

2024年度 一般社団法人 守口門真青年会議所

収支予算書

2024年1月1日から2024年12月31日まで

科目	2024年度 予算額	差異	2023年度 予算額	2023年度 決算額	備考
1. 事業活動収入					
入会金収入	0	-240,000	240,000	240,000	2024年度は0円
会費収入	9,040,000	1,930,000	7,110,000	7,110,000	
正会員会費収入	5,400,000	1,200,000	4,200,000	4,200,000	¥120,000×会員45名
新入会員会費収入	3,600,000	720,000	2,880,000	2,880,000	¥120,000×30名
特別会員会費収入	40,000	10,000	30,000	30,000	¥10,000×4名(2023卒)
賛助会員会費収入	0	0	0	0	1口(10,000円)×50口
事業収入	5,850,000	3,240,000	2,610,000	2,174,100	
登録料収入	5,850,000	3,240,000	2,610,000	1,913,900	新年交歓会 / 総会懇親会 / 祝賀会 / 卒業式謝恩会
販売収入	0	0	0	260,200	
雑収入	0	0	0	0	LINEスタンプ
受取負担金収入	450,000	0	450,000	450,000	
シニアクラブ負担金	450,000	0	450,000	450,000	
受取寄付金収入	2,000,000	1,700,000	300,000	430,000	
受取寄付金	2,000,000	1,700,000	300,000	430,000	周年、わんぱく相撲
クラウドファンディング	0	0	0	0	
受取募金	0	0	0	0	
雑収入	5,100,080	4,990,000	110,080	111,916	
受取利息収入	60	0	60	39	
特別基金 受取利息収益	20	0	20	24	
JCカード	100,000	0	100,000	81,853	LOM還元 ¥5,000×10人 ※決算額参照
その他雑収入	0	-10,000	10,000	30,000	JCカード新規登録キャッシュバック金含む
広告料収入	0	0	0	0	FMハナコ(委員会として使用するの是有)
周年積立金切り崩し	2,500,000	2,500,000	0	0	
シニアクラブ周年協力金	2,500,000	2,500,000	0	0	
新入会員の繰入金支出	0	0	0	0	
事業活動収入計	22,440,080	11,620,000	10,820,080	10,516,016	
2. 前年度繰越金	0	-2,440,173	2,440,173	2,440,173	
3. 事業活動支出					
事業費支出	12,520,000	5,860,000	6,660,000	4,806,452	
アニバーサリー実行委員会	5,900,000	5,900,000			登録料(ゴルフ、祝賀会)含む
WBF拡大委員会	1,650,000	1,650,000			登録料(謝恩会)含む
チャレンジタウン委員会	2,600,000	2,600,000			登録料(交歓会、懇親会)含む
笑顔溢れる青少年育成委員会	1,250,000	1,250,000			シニアクラブからの寄付金含む(わんぱく相撲)
発信力向上総務委員会	1,120,000	1,120,000			
周年戦略会議	0	-200,000	200,000	115,894	
夢膨らむ会員拡大委員会	0	-2,065,000	2,065,000	1,363,774	登録料(総会懇親会)含む
夢掴む人財育成委員会	0	-400,000	400,000	215,020	
夢魅る子供育成委員会	0	-850,000	850,000	505,910	シニアクラブからの寄付金含む(わんぱく相撲)
夢溢れるまち創造委員会	0	-1,480,000	1,480,000	1,668,181	登録料(新年交歓会)含む
夢ある組織づくり委員会	0	-1,665,000	1,665,000	937,673	登録料(卒業謝恩会)含む
正副理事長	0	0	0	0	
管理費支出	4,706,950	385,490	4,321,460	3,454,304	
会議費	200,000	100,000	100,000	78,490	
給与手当	1,200,000	0	1,200,000	1,200,000	
退職給付費用	0	0	0	0	
福利厚生費	0	0	0	0	
法定福利費	4,500	0	4,500	3,624	
通信費	200,000	0	200,000	124,395	
広報費	0	0	0	0	facebook広告料(委員会ごとの事業で利用するのは可)
消耗品費	50,000	0	50,000	78,947	
消耗什器備品費	100,000	0	100,000	88,668	
倉庫賃貸費	240,000	0	240,000	240,000	
共益費	250,000	0	250,000	225,969	
事務機賃賃料	300,000	200,000	100,000	0	
修繕費	0	0	0	0	
印刷製本費	100,000	15,000	85,000	66,719	
光熱費	130,000	20,000	110,000	109,637	
業務委託	220,000	0	220,000	193,400	HP製作委託費、理事変更届手数料
租税公課	190,000	0	190,000	166,000	
渉外費	1,000,000	0	1,000,000	463,224	
支払手数料	20,000	0	20,000	8,810	
雑費	250,000	0	250,000	172,253	ダイナーズクラブ年会費、Zoom年会費含む
総務費	0	0	0	0	
新入会員支出	252,450	50,490	201,960	234,168	バッジ1,800・プレート1,750・ポロシャツ1,700・ジャンパー2,900・入会証書90・筒175(8,415)×30名
負担金支出	2,782,675	1,161,795	1,620,880	1,459,062	
JCI会費	124,800	8,320	116,480	138,112	¥1,664×75名
日本JCI会費	345,000	40,000	305,000	305,000	基本金¥45,000 ¥5,000×45名+¥2,500円×30名
近畿地区協議会会費	165,000	19,800	145,200	74,000	基本金¥30,000 ¥1,800×75名
大阪ブロック協議会会費	320,000	41,600	278,400	278,400	基本金¥8,000 ¥5,200×45名+¥2,600円×30名
国際協力資金	136,875	20,075	116,800	116,800	¥1,825×75名
日本JCI出向者負担金	0	0	0	0	受益者負担
機関紙購読料	180,000	24,000	156,000	143,750	¥3,000×45名+¥1,500円×30名
近畿地区大会登録料	375,000	255,000	120,000	120,000	¥5,000×75名
大阪ブロック大会登録料	150,000	32,000	118,000	118,000	¥2,000×75名
サマーコンファレンス登録料	220,000	220,000	0	0	¥10,000×22名
全国大会登録料	390,000	390,000	0	0	¥13,000×30名
ASPAC大会登録料	0	0	0	0	
JC手帳購入費	0	0	0	0	
アジェンダシステム費用	176,000	11,000	165,000	165,000	
寄付金支出	100,000	0	100,000	0	守口市民まつり、門真市民まつり
正会員会費返金	0	0	0	0	
新入会員会費返金	0	0	0	0	
協賛金・後援金支出	100,000	100,000	0	0	JCカップ
他会計への繰入金支出	0	-538,040	538,040	505,832	
周年積立金	0	-500,000	500,000	500,000	
特別基金への繰入金支出	0	-38,040	38,040	5,832	
事業活動支出計	20,009,625	4,661,252	15,348,373	10,225,650	
4. 予備費支出	2,430,455	780,401	1,650,054	2,730,539	
当期収入合計	22,440,080	5,441,653	16,998,427	12,956,189	
当期支出合計	22,440,080	5,441,653	16,998,427	10,225,650	
当期収支差額	0	0	0	2,730,539	

■ 出向者一覧

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区協議会

会 長 東野 篤史
事務局 長 秋本 勇介
事務局次長 小西 侑介

未来組織共創会議
議 員 澤 輝

地域力共創委員会
委 員 山本 沙絵子

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 大阪ブロック協議会

LOM 連絡推進会議
副 委 員 長 碓 理 碩
議 員 澤 輝
議 員 細川 桃花
議 員 山本 弥

総務広報委員会
副 委 員 長 畔上 脩也

■ 2024 年度出向先外郭団体

守口市安全なまちづくり推進協議会	秋本
守口市献血推進協議会	山崎
守口市交通安全都市推進協議会	山本
守口市青少年問題協議会	秋本
守口市民まつり実行委員会	笑顔溢れる青少年育成委員会
守口市人権協会	山本
守口市暴力追放推進連絡協議会	秋本
門真市安全なまちづくり協議会	山崎
門真市美しいまち推進協議会	山本
門真市音楽協会	秋本
門真市交通安全推進協議会	山崎
門真市民ミュージカル実行委員会	山本
門真市民まつり	山本
門真市社会福祉協議会	秋本
門真市人権協会	山崎
門真市青少年育成協議会	山本
JC カップ実行委員会	笑顔溢れる青少年育成委員会